

経常的経費の節減、町税など収入の確保で

いかに適切な行財政運営をするかが鍵

Q & A

決算審査の
質疑から

総務産業建設所管の審査より

Q 経常収支比率が高いのは。

A 介護保険制度の創設など新たな財政負担が一因。松前町と同じような規模の市町も同様に高い。今後は最低でも現行水準を維持していきたい。

Q 税の滞納対策は。

A 現年度分の徴税率は99.3%で前年から上がっているが未だ滞納金額も多く収納にむけて財産調査や主に100万円以上の金額については、滞納整理機構への移管など滞納整理の努力を続けていく。

Q 地場産業推進事業の効果は。

A 水産業では漁協・海産加工業者を、商業では商工会や珍味組合を通して県外出店も引き、県からも松前町の物産展の取り組みの評価を得て県内外へ地場産業育成への効果が表れている。



年々賑わいをみせる たわわ祭

Q 橋梁長寿命化の修繕事業は。

A 平成24年度に町内の201橋についてすべて調査をしてそのうち3橋は平成25年度に修繕設計をし、平成26年度で改修工事を行う計画だ。法律改正により橋梁点検は5年に1度必ず行う必要がある。

Q 公共下水道への未接続者の対応は。

A 広報による啓発を行っているが高齢者世帯は、工事費用の問題などで接続できない状況もある。今後もお願いしていく。

水道事業会計決算の審査より

Q 有収率の低下の原因は。

A 近年、根本的な漏水対策を行っていないことが原因と思われる。平成25年12月に漏水調査を行い、修繕を行った結果、今年度、今のところは90%を超えている。

文教厚生所管の審査より

Q 学校施設耐震事業の今後は。

A 平成26年度の北伊予中学校の耐震補強工事でひと段落した。残りは松前中学校の耐震対策となる。

この事業は多額の費用を要すると見込まれるため、国に対し有利な補助を平成27年度以降も継続して要望するようになっている。



急がれる学校施設耐震対策 松前中学校